

3. 苦痛の緩和

(1). 身体的苦痛

- ・頻回の体位変換、安楽な体位の援助（クッション等利用）
- ・手をさする、マッサージ、指圧などの施行
- ・手足の冷感には保温に留意
- ・呼吸困難には適切な体位の援助（上半身を少し上げる等）
- ・必要に応じ酸素吸入施行

(2). 精神的苦痛(不安)

- ・利用者の言葉に耳を傾ける
- ・頻回な訪室
- ・言葉使いに気をつけ、優しいまなざしで対応する
- ・手を握る等スキンシップによる非言語的コミュニケーションの対応

4. 臨終時の援助

(1). 臨終の場において

- ・静かに行動、真摯な態度・言葉遣いに気をつける
- ・苦痛の表情には背部などにタオルを挿入、もしくは手の平をそっと挿入 軽く指圧
- ・ベッドサイドの整理整頓に配慮
- ・家族の支えとなるような適切な言動をとる
- ・家族皆で看取れるような場の設定（手を握って等の声掛け）
- ・時折口を湿らせる（コップに綿球棒のセット）
- ・呼吸が楽に行えるよう、枕はタオル等を利用し高くにない
- ・職員が見舞う時は必ず家族、利用者に言葉掛けをする

5. 死亡時の援助

(1). 死亡時

- ・家族の支えとなるような適切な言動をとる
- ・関係職員はお別れの訪室をする

(2). 死後の処置（エンゼルセット使用）

- ・看護師と寮母のペアで行う
- ・家族参加の希望の有無を聞く
- ・合掌し、窓を開けてから行う
- ・摘便については腹部膨満明らかに宿便ある場合は実施
- ・スキナ、温湯、タオルを準備、清拭する
- ・創傷ある場合はガーゼ処置を行う
- ・紙オムツを使用
- ・新しい着物に着替える（家族希望の衣装。着物にはこだわらない）
- ・基本的には綿詰は行わないが、顔痩せ著明の場合は使用
- ・女性は化粧を家族とともに行う。男性は髭を剃る。
（ガーゼで石鹸とお湯で皮膚を湿らせてから、皮膚を伸ばしながら剃る。剃刀は寝かせる）
- ・必要に応じて手足の爪を切る
- ・義歯の装着（入らなかったら無理に入れない）
- ・髪を整える
- ・手は合唱、組みひもは使用せず、あご固定にはタオルを首元に挿入

(3). 出棺

- ・職員、入居者と共に合掌してお見送りをする
- ・管理者からのお話し